

特許出願理由通知書

特許出願の番号

特願2002-564731

起案日

平成18年 2月 7日

特許庁審査官

赤川 誠一

3240 5B00

特許出願人代理人

坂口 博(外 2名) 様

適用条文

第29条柱書、第29条第1項、第29条第2項、第36条、第37条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から3か月以内に意見書を提出して下さい。

理 由

1. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。
2. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第1号に規定する要件を満たしていない。
3. この出願は、発明の詳細な説明の記載が下記の点で、特許法第36条第4項に規定する要件を満たしていない。
4. この出願の下記の請求項に記載されたものは、下記の点で特許法第29条第1項柱書に規定する要件を満たしていないから、特許を受けることができない。
5. この出願は、下記の点で特許法第37条に規定する要件を満たしていない。
6. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明であるから、特許法第29条第1項第3号に該当し、特許を受けることができない。また、この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記

(引用文献等については引用文献等一覧参照)

【理由1について】

とは具体的にどのようなラッパーであるのかが不明である。特に、「ポータブル・マシンに非依存」であることを実現するための具体的構成が不明である。

請求項4に記載の「ポータブル・マシンに非依存のインターフェース」、請求項8の「ポータブル・マシンに非依存のコンポーネント」についても同様である。

B. 請求項1の「前記ネットワークを介する前記アプリケーションの分散処理を可能にするインターフェース」とは、どのような具体的構成ないし構造を有するインターフェースであるのかが不明である。

C. 請求項1の「レガシ・アプリケーションが、その通常の処理を保つ」とは、具体的にどのような処理態様を表しているのかが明確でない。

D. 請求項3の「データが参照によるのではなく値によって渡されるのを容易にするためのコンポーネント・シーケンス構造」は、具体的に何を表すものであるのか、特に、「データが参照によるのではなく値によって渡されるのを容易にする」ための具体的構成が不明である。

E. 請求項4～6に記載の方法について、各ステップの処理を行う主体が不明である。

F. 請求項4に記載の「前記レガシ・アプリケーションを分析する」処理について、「レガシ・アプリケーションの機能をコンポーネントに分離する」ために具体的にどのようにして分析を行うのかが不明である。

G. 請求項4の「前記コンポーネントおよび前記インターフェースへのインデックスを提供する」という記載は、具体的にどのような処理態様を表しているのかが不明である。

請求項8の「前記コンポーネントおよび前記機能へのインデックスを提供する(第3のプログラム・モジュール)」という記載についても同様である。

H. 請求項6の「データのシーケンスのリスティング」とは、何を表すものであるのかが不明である。

I. 請求項6の記載において、「データのシーケンスのリスティングを提供する」ことと、「データをコンポーネント間で参照によるのではなく値によって渡せるようになる」ことの技術的関連が不明である。

J. 請求項7に記載の「component beanにアクセスする共用ライブラリ」および「エクスポート・シンボルのライブラリ」とは、具体的にどのようなライブラリであるのかが不明である。

請求項11についても同様である。

K. 請求項8の「第2プログラム・モジュール」について、「前記レガシ・アプリケーションからの機能を提供する」ための具体的構成ないし構造が不明である。

L. 請求項10に記載の「アプリケーションの共通シーケンス構造」とは、具体的に何を表すものであるのかが不明である。

供する」ことと、「データを、値によって渡すことができ、参照によって渡す必要がない」こととの技術的関連が不明である。

よって、請求項1-11に係る発明は明確でない。

【理由2について】

- A. 請求項1に係る発明の「レガシ・アプリケーションを囲むポータブル・マシン」と、発明の詳細な説明に記載された実施例との対応関係が明確でない。
- B. 請求項1に係る発明の「ポータブル・マシンに非依存のインターフェース・ラッパー」と、実施例との対応関係が明確でない。
- C. 請求項1に係る発明の「前記ネットワークを介する前記アプリケーションの分散処理を可能にするインターフェース」と、実施例との対応関係が明確でない。
- D. 請求項3に係る発明の請求項3の「データが参照によるのではなく値によって渡されるのを容易にするためのコンポーネント・シーケンス構造」と、実施例との対応関係が明確でない。
- E. 請求項4に係る発明の「前記コンポーネントを異なるサーバに分散する」構成、「ポータブル・マシンに非依存のインターフェース」及び「前記コンポーネントおよび前記インターフェースへのインデックス」と、実施例との対応関係が不明である。
- F. 請求項6に係る発明の「データのシーケンスのリスティング」と、実施例との対応関係が不明である。
- G. 請求項7, 11に係る発明の「共用ライブラリ」と、実施例との対応関係が不明である。
- H. 請求項8に係る発明の「前記コンポーネントおよび前記機能へのインデックス」と、実施例との対応関係が不明である。
- I. 請求項10に係る発明の「アプリケーションの共通シーケンス構造」と、実施例との対応関係が不明である。

よって、請求項1-11に係る発明は、発明の詳細な説明に記載したものではない。

【理由3について】

発明の詳細な説明には、以下に指摘する各請求項の構成に対応する具体的な記載は見受けられない。

- A. 請求項1に係る発明の「レガシ・アプリケーションを囲むポータブル・マシン」
- B. 請求項3に係る発明の「データが参照によるのではなく値によって渡されるのを容易にするためのコンポーネント・シーケンス構造」
- C. 請求項4に係る発明の「前記コンポーネントを異なるサーバに分散する」構

J

D. 請求項6に係る発明の「データのシーケンスのリステイング」

E. 請求項7, 11に係る発明の「共用ライブラリ」

F. 請求項8に係る発明の「前記コンポーネントおよび前記機能へのインデックス」

G. 請求項10に係る発明の「アプリケーションの共通シーケンス構造」

よって、この出願の発明の詳細な説明は、当業者が請求項1-11に係る発明を実施することができる程度に明確かつ十分に記載されていない。

【理由4について】

A. 請求項1-3に記載のシステムは、その構成要素としてどのような具体的物理的構成を有するものであるのかが不明であり、全体として人間の精神により観念されるだけの仮想的な体系を“システム”と呼んでいるにすぎないと解することもでき、この場合、当該システムは自然法則を利用しないものであることは明らかである。

B. 請求項4-7に記載の方法は、ハードウェア資源を使用せず、人為的取り決めのみに基づくものである。

C. 請求項8-11に記載のプログラムと、ハードウェア資源との具体的協働を把握できない。

よって、請求項1-11に記載のものは、自然法則を利用しているとはいえない。

【理由5について】

請求項1-3, 8-11に係る発明は、レガシ・アプリケーションの分散処理を可能とするインタフェースを含むマシン非依存のインタフェース・ラッパーないしコンポーネントを含むシステムまたはプログラムに関するものであるのに対し、請求項4-7に係る発明は、レガシ・アプリケーションを分析してその機能をコンポーネントに分離し、当該コンポーネントを異なるサーバに分散させる方法に関するものである。

よって、請求項1-3, 8-11に係る発明と請求項4-7に係る発明は、その主要部も解決しようとする課題も同一ではなく、また、特許法第37条第3-5号に規定のいずれの関係をも満たさない。

【理由6について】

請求項: 1-11

引用文献等: 1

備考:

引用文献1の、特に、第3.3.3節及びFigure 5を参照。

整理番号: 発送番号:054839 発送日:平成18年 2月14日 5/E

請求項: 1-3, 8-11

引用文献等: 2

備考:

引用文献2の、特に、請求項1-6及び図4, 7を参照。

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引用文献等一覧

1. Santiago Comella-Dorda et al., "A Survey of Black-Box Modernization Approaches for Information Systems", Proceedings of the International Conference on Software Maintenance (ICSM'00), 2000年10月11日, pp.173-183 (JP-N5-03-12208)
2. 特開2000-250768号公報

先行技術文献調査結果の記録

・調査した技術分野 IPC第7版 G06F 9/46
15/16-15/177

・先行技術文献

特開2001-5791号公報

特開2001-337935号公報

特開2000-227906号公報

特開平11-119986号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第四部 情報処理 ▲はま▼中 信行

TEL. 03 (3581) 1101 内線 3545

FAX. 03 (3501) 0737